

多高通信

第115号 平成27年2月25日発行

国連防災世界会議に参加します

3月14日～18日に仙台で開催される国連防災世界会議に多高生が参加します。この会議は国連が主催し、国連加盟国193カ国や国際機関、自治体など国内外から4万人以上の参加が見込まれています。これまで多賀城高校が防災に関して取り組んできたことを発表し、ワークショップに参加するなど10を超えるさまざまな形で会議に参加する予定です。

■小畑 綾香(3年7組 東仙台中出身)

私は、BEYOND Tomorrowの学生運営メンバーである大学生と一緒に、国連防災世界会議の関連イベントである「フィリピン人学生と語る会」を企画しています。2013年にフィリピンで発生した大型台風「ヨランダ」により大きな被害を受けたフィリピンの学生たちと、2011年に発生した東日本大震災により大きな被害を受けた私たち東北の学生が、互いに災害の被災者としてアジア地域における防災について議論したり、文化交流をしたりする機会にしたいと考えています。

さらに私は「Children&Youth Forum」にも参加します。このフォーラムは被災地視察などを通して震災で失った大切な南三陸町のため、大切な人の遺志を継ぐため、そして東北の未来のために真剣に防災問題と向き合うものです。この問題に関係のない人は誰一人いません。大切な人やもの、自分自身を守るための防災について、皆さんもこの機会に考え直してみませんか。



1. 17震災メモリアル行事に参加

■生徒会長 阿部 拓人(2年6組 向洋中出身)

私は1月15日～16日に兵庫県立舞子高校で行われたメモリアル行事に参加しました。兵庫県では阪神淡路大震災で多くの方が亡くなり、あの日に起きたことを聞くことが出来ました。また、南海トラフ

自身も近い将来発生すると予想されているので、避難袋を準備したり、震災が発生したらどこに避難するかなど、家族や友達と再確認すべきだと思えました。

■副会長 亀山 沙月(1年5組 多賀城中出身)

舞子高校では環境防災科の3年生の先輩方に校舎を案内していただき、お話を伺いました。阪神淡路大震災から20年が経過し、普通科の中には防災に対する関心が薄れてきている生徒が増え、普通科と防災科の間に意識の差が生まれているそうです。防災科の先輩の中には、災害時に必要な道具や考えなくてはいけないことについてまとめたプリントを自主的に作成したり、ボランティアに積極的に参加したりと、誰かのために行動する姿に衝撃を受けました。

多賀城高校では私たちが3年生になったときに災害科学科が設立されます。今回私が学んだことを忘れず、副会長としてこれからの多賀城高校のために何が出来るのか考えたいと思います。



放送部 放送コンテスト東北大会出場!

■部長 佐藤 惇史(2年6組 七ヶ浜中出身)

昨年に続いて私たち放送部は、宮城県放送コンテスト新人大会でラジオキャンペーン部門で優秀賞と優良賞、テレビキャンペーンで優秀賞を受賞し、東北大会に3つの作品を持って参加することができました。今年の作品課題は「時」で次のような作品を制作しました。

○ラジオキャンペーン部門

「忘れられないとき、忘れてはいけないとき」東日本大震災を題材としたもので、親族を失った方の証言とこれからの想いを綴ったショートドキュメント。

「未来予報」

未来を前向きにとらえていこうというショートドラマ。

○テレビキャンペーン部門

「悠久の時を刻む」

多賀城の歴史をシークエンスに、忙しい現代生活の中で時にはゆったりとした生活をしてみようというビデオポエム。

3つの作品は残念ながら決勝に進むことはできませんでしたが多くのことを学ぶことができた2日間でした。私たち2年生にとって残された大会は、6月に行われるNHK杯が最後になります。東北大会で学んだことをこれからの作品作りに活かし、現在の1年生および、4月に入学してくる新1年生とともに、上位大会入賞をめざしたいと思えます。

最後になりましたが作品制作にあたってご協力をいただいた地域の皆さま、ご指導をいただいた先生方に感謝申し上げます。



吹奏楽部 ウィンターコンサート

■副部長 古田菜々子(2年6組 七ヶ浜中出身)

今回初の試みで行ったウィンターコンサートですが、本番直前に顧問の児玉先生が体調を崩され、私たちの力でコンサートの仕上げをすることになりました。部員同士で意見が食い違い、ぶつかり合うことが多くありました。しかし、本気でぶつかり合ったからこそ、本番のステージを楽しみることが出来たし、来てくださった方々の笑顔が見られたり、「良かったよ」という声を聞くことが出来たので本当に嬉しかったです。

5月には定期演奏会があるので、今回のこの経験を活かして頑張っていきたいです。来てくださった方々、ありがとうございました。



合唱部 アンサンブルコンテスト出場

■混声 齋藤 絵梨(2年2組 東豊中出身)

2月7日に行われたアンサンブルコンテストでは混声合唱と女声合唱の2チームに分かれて出場しました。それぞれのチームが曲と向き合い、完成度を高めるため曲を煮詰めていくことが必要です。女声チームはさくらも



もこさん作詞の「ぜんぶ」という曲を演奏し、「大切なことはぜんぶここにあり」という詩を温かい曲と共に歌いました。結果は銅賞でしたが、みんなで練習してきた時間を考えると、このコンクールをおして素敵な時間をもらえたと思います。

■女声 村上 まみ(2年1組 高崎中出身)

コンテストの結果は銅賞でしたが、今まで練習してきたことを全部出し、全員が楽しく演奏出来たので良かったです。この悔しい思いをバネにして夏のコンクールに向けて頑張っていきたいです。



合唱部が出演します!!

バレー部 県新人大会結果報告

■部長 石垣 淳也(2年1組 鳴瀬第二中出身)

1月24日に行われた新人大会の対戦相手は仙台工業高校でした。序盤は好調で課題だったカットミスも改善できたのですが、中盤から相手ペースにはまり負けました。高総体では終盤まで自分たちのペースを持続できるように頑張りたいです。

■部長 高橋 知穂(2年1組 蛇田中出身)

私たちは石巻好文館高校と対戦し、1-2で負けました。サーブカットのミスから攻める気持ちがあがりませんでした。それが連続失点につながりました。今回の大会で明らかになった課題を日々の練習で改善していきたいです。